



アレルギー・免疫に関する研究/総合診療に関する研究

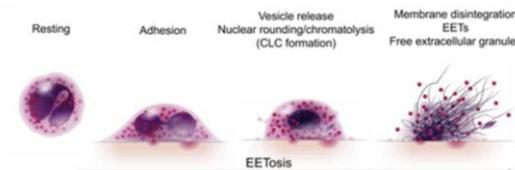
「アレルギー」「免疫」「総合診療」という言葉でみなさんはどんなイメージを持つでしょうか？
花粉症や喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患は私たちの身近にある病気です。総合診療はこれからの日本に最も必要な分野と考えられています。総合診療・検査診断学講座では、①免疫細胞の働きやアレルギーのメカニズムから目指す新しい治療法や診断法の開発 ②総合診療の実践に関する研究 を行っています。

1年生も学会に参加！



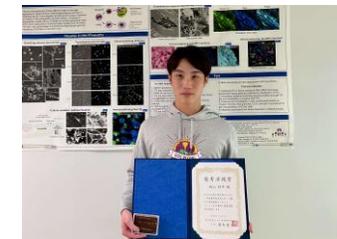
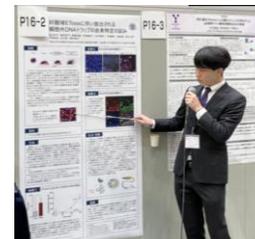
どんな研究をしているの？

当講座では、「好酸球」という白血球の一種が特殊な細胞死を起こすことを世界で初めて発見しました。この細胞死は、病原体の除去にもアレルギーの悪化にも重要なことがわかってきました。私たちはこのような病気のメカニズムを探る研究だけでなく、総合診療部での多彩な症例に関する研究や、地域医療の改善につながる取り組みも積極的に行っています。



研究に興味がある人へ

- ✓学会発表や論文執筆の機会が豊富！
- ✓アレルギー・免疫・総合診療に興味のある方に最適！
- ✓基礎研究・臨床研究の両方に携われる！



当講座では、取り組んだ研究から学会発表や論文執筆を行うことを積極的にサポートしており、実際に在籍している学生も成果を上げています。現在、当講座で研究する西山将平くん（6年生）は高いインパクトのある国際論文の共著となり、学会発表で優秀演題賞も獲得しました。また、ほかの学生も、プライマリ・ケア学会や内科学会でも症例発表や取り組みを報告しています。学生でも第一線の研究に携わり、学会での発表や論文執筆の機会を得ることができます！

アレルギー・免疫・総合診療に関する研究は未来の医療に貢献できる分野です。研究活動を通じて、臨床と基礎の両面から医学を探究する力を養うことができます！なんとなく興味がある、という方も、ぜひお気軽にお声がけください。



当講座HP(研究実績など)



GP NET(ブログなど)

※お問い合わせは、総合診療・検査診断学講座 医員 肥塚慶之助まで
電話：018-884-6428 E-mail：trkkcbrobk@gmail.com